



学習指導要領の改訂案(2月14日)

総則：
学校と社会の連携・協働の実現を図る「社会に開かれた教育課程」を重視。

静岡茶愛飲条例には追い風

★**学習の基盤となる資質・能力の育成**
 (言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力など)

★**現代的な諸課題に対応できる資質・能力の育成**
 (健康、安全、食に関する力など)

さらには、学校等段階間や教科等のつながりを見通した教育課程編成を行う
 例：社会：専門家や関係機関等との連携を強化
 算数・数学：日常生活、社会や数学の事象から問題を見出し……
 理科：日常生活や社会との関連を重視
 家庭、技術家庭：……食育、日常の生活文化……学習活動を重視



静岡茶愛飲条例のKeypoint

1. 児童生徒への静岡茶の愛飲を促進する

2. 静岡茶による食育(茶育)の推進
 ・お茶の美味しさ、機能、産地、歴史、茶の文化等々の理解を深める教育

3. 給食、休憩時間も利用

4. 静岡茶を愛し、飲用を毎日の習慣とする

教育の目的

教育基本法 **社会に貢献する健全な人格の形成**

第二条 (教育の目標)

- 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

第五条 (義務教育)

- 二 義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものとする。

学校教育の目的

学校教育法

第二十一条

- 一 学校内外における社会的活動を促進し、自主、自律及び協同の精神、規範意識、公正な判断力並びに公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 二 学校内外における自然体験活動を促進し、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 三 我が国と郷土の現状と歴史について、正しい理解に導き、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、進んで外国の文化の理解を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。
- 四 家族と家庭の役割、生活に必要な衣、食、住、情報、産業その他の事項について基礎的な理解と技能を養うこと。
- 五 読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと。
- 六 生活に必要な数量的な関係を正しく理解し、処理する基礎的な能力を養うこと。
- 七 生活にかかわる自然現象について、観察及び実験を通じて、科学的に理解し、処理する基礎的な能力を養うこと。
- 八 健康、安全で幸福な生活のために必要な習慣を養うとともに、運動を通じて体力を養い、心身の調和的発達を図ること。
- 九 生活を明るく豊かにする音楽、美術、文芸その他の芸術について基礎的な理解と技能を養うこと。
- 十 職業についての基礎的な知識と技能、勤労を重んずる態度及び個性に応じて将来の進路を選択する能力を養うこと。

⇒ **態度及び基礎的能力の養成**

食育基本法

(目的)
 第一条 この法律は、近年における国民の食生活をめぐる環境の変化に伴い、国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむための食育を推進することが緊要な課題となっていることにかんがみ、食育に関し、基本理念を定め、及び国、地方公共団体等の責務を明らかにするとともに、食育に関する施策の基本となる事項を定めることにより、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来にわたる健康で文化的な国民の生活と豊かで活力ある社会の実現に寄与することを目的とする。

(国民の心身の健康の増進と豊かな人間形成)
 第二条 食育は、食に関する適切な判断力を養い、生涯にわたって健全な食生活を実現することにより、国民の心身の健康の増進と豊かな人間形成に資することを旨として、行われなければならない。

(食に関する感謝の念と理解)
 第三条 食育の推進に当たっては、国民の食生活が、自然の恩恵の上に成り立っており、また、食に関わる人々の様々な活動に支えられていることについて、感謝の念や理解が深まるよう配慮されなければならない。

教育活動の醍醐味

教育活動の醍醐味は子供の成長
子供は多様、金太郎飴は時代遅れ
教師は子供の成長度合いを評価

教育は、子供の「こころ(情緒、精神)」を揺り動かすことが重要

教材：
 身近なものは「こころ」に感じやすい
 (地域の文化、歴史、偉人、自然、環境、産業などなど)
 生きた教材は理解しやすい
 (五感で捉えることが可能なもの)
 地域社会は人間形成能力に必要な
 (誇り、アイデンティティなどなど)

茶育の特徴

- ★茶は自然科学、社会科学の様々な分野の基礎的能力を養う素材
- ★静岡では茶は身近な教育素材であり、興味を抱かせやすい
- ★心身の健康の増進と豊かな人間形成教育をしやすい素材
- ★茶の愛飲は、静岡へのアイデンティティを高め、地域の活性化に結び付きやすい素材
- ★茶は国際交流・貢献が可能な素材

茶育実践事例集(平成27年)より

★静岡県内の小学校での実践事例

教科	学年	教材名	教科	学年	教材名
国語	4	きせつの言葉「夏近し」	総合学習	3	お茶博士になろう
社会	3	静岡県の産業について	総合学習	4	お茶ってすごいよ
社会	3	島田市のものづくりについて	総合学習	中1	お茶のキャッチコピーをつくろう
家庭	5	はじめてみようクッキング	道徳	1	おいしいお茶
家庭	特支	急須でお茶を淹れてみよう	道徳	3	製茶を日本一に
家庭	中2	お茶に親しもう	道徳	中1	お茶摘み
家庭	中3	日本茶の飲み比べ	学校行事	中1~3	茶道教室
英語	中2	お茶について調べ、英語でまとめよう	学校行事	中3	修学旅行で相良・牧の原茶を紹介
英語	中3	日本文化紹介(お茶)	学級活動	1~6	日本のお茶を飲もう
美術	中1~3	屏風を愛で、お茶を飲み味わう	学級活動	中1	お茶を美味しく淹れてみよう
クラブ活動	4~6	お茶を食べ茶おう			

※静岡県教育委員会から資料提供(平27)

★静岡大学在学生在が小・中・高を通じて緑茶に関して学習経験した割合

学習した教科(%)											
国語	社会	算数	理科	英語	保健	図工	家庭	総合	生活	部活	校外学習
1.2	40.6	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	24.7	61.2	11.6	3.5	11.8

学習内容(%)

産業	淹れ方	歴史	利用	茶場見学	茶づくり
64.7	54.1	41.2	37.8	45.9	32.9

村上陽子など：大学生におけるリブ緑茶の摂取状況と嗜好性(2016) 静岡大学教育学部付属教育実践総合センター紀要、No.25、135-144.

お茶は教材の宝庫

学習指導要領への茶の活用

- ・茶を基軸とした指導
茶産業、郷土の偉人、お茶料理、茶文化 などなど
- ・茶を素材の一駒として利用した学習指導
算数、理科、歴史、国語 などなど

各学年、各教科間を連動させ、茶を基軸にスパイラルアップする学習指導要領とした

各教科での指導要領私案(一例)

国語
 ・国語を適切に表現し、理解する能力、思考力、想像力及び言語感覚を養う。
 (身近なことや経験したことから想像したことなどをもとに、話し、書き、読む能力を養う)
 ⇒ ①茶にまつわる身近な漢字
 ②茶に係る小説、詩歌
 ③茶に関する方言 などなど

社会
 ・国土と歴史に対する理解と愛情を育て、平和な国際社会の形成者としての基礎を養う。
 (地域社会に対する誇りと愛情から国や国際社会への係りを考える)
 ⇒ ①地域産業としてのお茶(生産から加工流通、茶関連業界)
 ②茶業の発展の歴史と先人の業績
 ③国際社会のなかの日本茶 などなど

各教科での指導要領私案(一例)

算数

・数量や図形についての知識や技能を身につけ、筋道を立てて考え、表現する能力を育て、算数的活動の楽しさや数理的処理の良さに気付く態度を育てる。(具体物を用いて数量的な感覚を豊かにするとともに数的計算能力を養う)

- ⇒ ①茶を素材として利用(新芽数、急須から人数分の分配)
②生葉から荒茶(乾燥物)への変化を数量的に説明
③茶園の形と面積 などなど

理科

・自然に親しみ、観察、実験から問題解決能力と自然への理解と科学的な見方や考え方を養う。(身近な素材を通して生命への愛着、尊重する態度と理科的なものの見方や考え方を養う)

- ⇒ ①植物としてのお茶(種子から成長、茶園、結実まで)
②四季折々に対応した茶
③茶園のなかの昆虫(茶園は小宇宙、小さなジャングル) などなど



各教科での指導要領私案(一例)

生活

・具体的な活動や体験を通し、人々、社会、自然との係りに関心を持ち、生活上必要な習慣や技能を身につけさせ、自立への基礎を養う。

(地域社会の良さや人、自然の素晴らしさを具体的に把握し、それらを活かし、一体的に考え、意欲的に成長、自立できる基礎を養う)

- ⇒ ①植物としてのお茶の観察や茶摘み体験
②お茶を淹れることによるおもてなしの体験
③お茶を飲むことの習慣(愛飲) などなど

茶染め

音楽

・音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、豊かな情操を養う(生活を明るく潤いのあるものに、音楽からの情報、表現などの感性を養う)

- ⇒ ①茶を素材とした「うた」(茶つみ、チャッキリ節)
②相聞歌、各国の茶に係るフォークソング
③地域に伝わる茶摘み唄、茶揉み唄



各教科での指導要領私案(一例)

図画工作

・感性を働かせながら、創り出す喜びを味わうとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

(創り出す喜びや作品からその良さや美しさを感じるなど、豊かな情操を養う)

- ⇒ ①自然に溶け込んだ茶園風景の図画
②身近な素材として茶碗、急須を題材
③新しい茶の飲用道具の創作 などなど



家庭

・衣食住に関する日常生活に必要な知識、技能。家庭生活を大切にすることを心がけ、生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる(生活に関する実践的、体験的活動を通して、日常生活に必要なスキルと向上しようとする実践的な態度を育てる。)

- ⇒ ①家庭生活のなかでの愛飲、役割分担
②楽しく食事をするためのお茶の役割
③お茶の消費や選び方、買い方 などなど

茶後の茶の時間

各教科での指導要領私案(一例)

体育

・心と体を一体としてとらえ、運動に親しむ資質や能力の基礎のみならず、健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

(各種の運動の楽しさや喜びを味わう。協力、公平な中にも自己の最善を尽くし、健康に留意する態度を育てる)

- ⇒ ①茶園周辺でのかけっこ、リレー(掛川新茶マラソン)
②茶作業を素材とした表現リズム遊び など

道徳

・よりよく生きるために、自己を見つめ、物事を多面的、多角的に考え、自己の生き方について学習し、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる

(親切、思いやり、感謝、礼儀、相互理解、勤労の精神、家庭生活の充実、伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度、国際親善、自然愛護、畏敬の念、生きる喜びの心、態度を育てる)

- ⇒ ①家庭生活のなかでの茶の愛飲、役割分担
②お茶を淹れること
③お茶の文化や郷土のなかの茶への理解
④地域をつくる人々と茶

各教科での指導要領私案(一例)

外国語

・外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成とコミュニケーション能力の基礎を養う(能力のみならず、言語や文化、生活、習慣、行事等の違いなどの多様なものの見方、考え方を理解する。)

- ⇒ ①世界各国で飲まれている茶とその表現
②茶について書かれている書物を知る(The Book of Tea)
③日本茶の紹介(歴史、文化、作法、味などなど)

総合的な学習の時間

・自ら課題を見つけ、学び、考え、判断し、問題を解決する資質や能力を育成。創造的、探究的、協同的に取り組む態度を育て、自らの生き方を考えることができるようにする

(横断的、総合的な学習、探究的な学習、日常生活や社会とのかかわり重視、社会体験、体験活動、観察や調査活動などの重視)

- ⇒ ①茶産業の実態観察や調査
②各種茶の味と嗜好、TPOに応じたお茶とは
③茶の歴史文化産業 などなど

各教科での指導要領私案(一例)

特別活動

・望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度、自己の生き方についての考えを深め、自己を活かす能力を養う

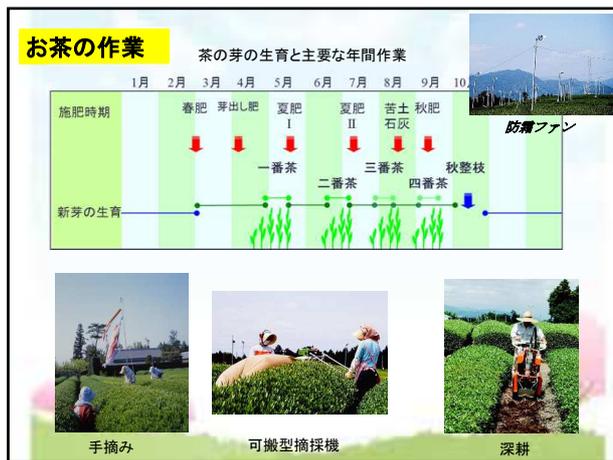
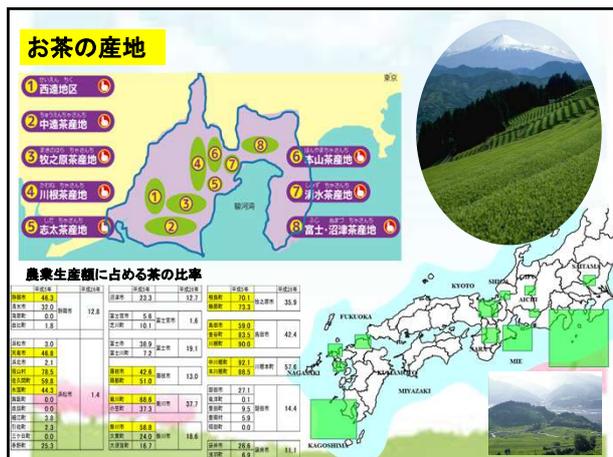
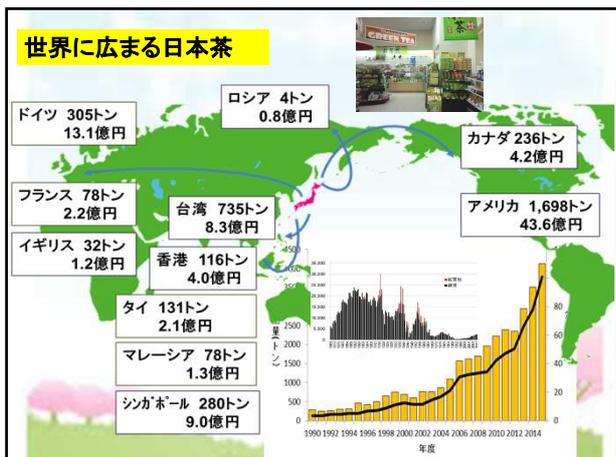
(学級活動、クラブ活動、学校行事(文化的行事、遠足行事、勤労生産行事))

- ⇒ ①皆でウガイを
②お茶クラブ
③お茶の日の活用
④茶関連施設への遠足
⑤お茶摘み、お茶づくり などなど



「しずおか」は茶の都
教材としてのお茶には 事欠きません

子供の成長に応じ、タイミングよい生きた教材の活用が重要



虫歯予防

歯が痛〜い

ごどもお茶小事典より

図14 虫歯の原因とその相関図

ヤヤ！乳酸で歯が溶けてきたぞー

歯垢の家の中で、楽しい食事。食べかすを使って家出てきた乳酸は捨ててしまえ！（歯垢）づくりダー！

抗ストレス効果

University Subjective Stress

Pharmacy Practice Visual analogue scale

ヒト試験による低カフェイン茶の抗ストレス効果

眠気防止と記憶力の改善

1杯(100ml)のお茶には、およそ20～50mgのカフェインが含まれている。お茶を飲むとカフェインはすぐに体内に吸収されて、30分～1時間で血液中の濃度がピークに達するほど即効性がある。

お茶は別名「目覚まし草」とも言われ、古来より眠気防止としても飲まれた

マウスのステップスルー装置を用いた受動回避試験

緑茶カテキン摂取による学習能低下の抑制効果

お茶の健康への機能

山は富士

お茶と食材 日本一

いきいき長寿のふじのくに!!

健康維持・増進

図3 健康寿命(男性)と茶との関係

図4 健康寿命(女性)と茶との関係

お茶の多用途利用

表 茶の新需要の事例

区分	需要分野と応用例
茶として利用	水出し茶、各種発酵茶、新香味茶、ギャパロン茶、低カフェイン茶、濃縮茶、混合茶 など
飲用・形態を変えて利用	ドリンク茶、ティバッグ、インスタントティ、粉末茶、微粉末茶(食用、即席飲用、酒割用)、カード茶、錠剤茶、カプセル茶、茶ワイン、緑茶酒、スポーツ飲料、カテキン粉末など
食品・食用として利用	☆ 形態を変えてそのまま食用として利用 ☆ 食品素材として利用 「素材」「食品」「菓子類」「その他」健康補助食品
飲食料以外に利用	☆ 衣料用など ☆ 医療用 ☆ 化粧品、石鹸用など ☆ 消臭剤、脱臭剤など ☆ 日用品など ☆ 建材、家具、家電用品など ☆ 家畜、ペット用品 ☆ 植物活性化用 ☆ その他

お茶の食材としてのメリット

料理例

- [和風料理] お茶葉懐石
- [洋風料理] お茶葉イタリアン、お茶葉カルボナーラ、緑茶ニョッキ、アクア、パツア緑茶
- [中華料理] 海老のお茶蒸し、春巻き
- [和菓子] 茶ゼリー、茶葛餅
- [洋菓子] 茶チーズケーキ、茶シフォンケーキ、茶ロールケーキ
- [調味料] ソース、お茶シロップ、お茶醤油、茶湯
- [加工食品] 茶葉入りやいりかきの塩辛、茶葉入りやいりかきの糍漬け

① 溶出液では35%しか利用できないお茶の機能成分が100%利用できる。
② 茶葉には、つぎのような身体の機能を高める成分が沢山含まれている。(カテキン類、テアニン、カフェイン、ビタミン類(β-カロテン、B2、C、E)、フラボノール、サポニン、葉緑素、カリウム、カルシウム、鉄、リン、植物繊維など)
③ 常日頃、茶をまるごと食べることによって健康・美容パワーや生活習慣病の予防などが期待される。

お茶の食材としての利用

お茶は様々な料理に使えます

- 魚の生臭み、ぬめりを取る**
茶汁を冷やしたものを青魚にかけてさっと洗うだけ
- コレステロールを減らす**
茶汁のなかでしゃぶしゃぶすることで脂肪分を減少
- 油の酸化を防ぐ**
衣に混ぜて揚げることで油の酸化防止を
- 小魚の骨まで軟らかく煮る**
茶汁で煮ると小骨まで軟らかくなる
- 香りを楽しむ**
お茶で燻製を楽しむ
- お茶の色、風味を楽しむ**
- カロテン、ビタミン類、食物繊維の摂取に**




お茶を食材として利用

生茶葉を使った料理






粉末茶・抹茶を使った料理






簡単にできるお茶の作り方

緑茶から紅茶まで誰でも簡単にできます

☆緑茶の作製には摘んだお茶をすぐに電子レンジ化ホットプレートで処理すること
☆ウーロン茶では、日陰で半日程度、萎らすこと
☆紅茶では、ビニール袋などのなかで揉みながら赤くなるまで発酵させること



- 生葉を電子レンジで2〜3分ほど温めます。
- ホットプレートの温度を200〜250℃に温めておきます。
- ホットプレートに①の葉を入れて、こげないように葉っぱを裏手をした手で葉っぱを持ち上げながらよく水分をとります。
- 4〜5分すると色があざやかになってきてしおれたようになってきます。ホットプレートからおろして、蒸たたく紙の上やザルの上で揉みましょ。
- ホットプレートの温度を140〜150℃に下げて、揉んだ葉を戻して、持ち上げながら葉の水分をとばします。
- 再び取りだして水分を揉みだし、ホットプレートにもどす作業を繰り返します。⑤〜⑥を繰り返します。
- ホットプレートからおろして、お茶の形をつくるために、手のひらの間で握るようにこすり合わせます。しっとりとしたら、またホットプレート上で乾かしましょう。これをお茶が乾くまで繰り返します。

静岡県内のお茶に係る地域資源



世界農業遺産
静岡の茶草場農法

しずおか
茶の都

県内の茶関連施設

フォーレなかかわね



茶客館
お茶の郷
玉露の里
しずおかO-CHAプラザ
浜松市茶室「松鶴亭」
香りの丘茶ピア

主要な推進事項(静岡県)

- 新たな需要創出と消費拡大**
 - 新たな需要を喚起する静岡茶の開発
 - 多彩な魅力を持つ静岡茶の生産と販売戦略
 - 生産と商工が連携した販売と流通の体制強化
- 未来を担う茶業経営体の育成**
 - 地域の核となるビジネス茶業経営体の育成
 - 生産効率・収益性の高い生産基盤づくり
 - 産地を維持する持続的的茶業の推進
- 魅力あふれる茶文化の創造と世界への発信**
 - 新しい茶文化の提案と発信
 - ふじのくに「茶の都しずおか」の魅力発信

参考図書

- ・「めざせ」お茶博士 こどもお茶小辞典 (2012) 静岡県経済産業部 農林業局茶業農産課(PDF)
- ・静岡県茶業の現状(お茶白書)(2016) 静岡県経済産業部お茶振興課 (PDF)
- ・緑茶と健康のメカニズム「機能効用ナビゲーション2013」静岡県経済産業部お茶振興課 (PDF)
- ・新版 ヒト試験から分かった新たな役割—茶の機能— (2012) 公益社団法人・日本茶業中央会、農山漁村文化協会
- ・地域食材大百科第12巻 (2013) 農山漁村文化協会
- ・緑茶の事典 (2000) 柴田書店
- ・生活を奏でる茶 (1981) 第一法規出版株式会社
- ・食べるお茶の本①、② (2006) 大空出版
- ・おいしいクスリお茶「飲んで食べて料理して」(1994) 保健同人社
- ・緑茶革命 (2001) 女子栄養大学出版部
- ・お茶のなんでも小事典 (2000) 講談社
- ・心と体に効くお茶の科学 (2004) ナツメ社